

村長・副村長と委員が意見交換

千早赤阪村農委

千早赤阪村農業委員会(仲野一清秀会長)は昨年11月8日、南



昨年6月に農委より提出した意見について、回答する南本村長

本齋村長、稲山喜一(副村長)と農業委員12人、推進委員3人で千早赤阪村の農業施策についての意見交換を行った。

同村では昨年4月19日に南本村長に対して農業施策に関する意見書を提出(令和3年6月号1面参照)。これに関して「今後の農政業務を進める上で重要な事項として位置づけられるもの。農業委員会と村の連携は今後も不可欠であり、意見交換会を実施したい」という南本村長の想いから意見交換会の開催に至った。

第69回常設審議委員会

農業会議は昨年12月16日、第69回常設審議委員会をJ Aバンク大阪信連事務センターで開催。

第1号議案の農地法第4条及び第5条の規定に基づく意見聴取に回答する件(高槻市、茨木市、豊能町、箕面市、和泉市、貝塚市、堺市、太子町、河南町、富田林市、松原市、大阪狭山市、八尾市、枚方市、寝屋川市、交野市農業委員会会長) 25件(3

万3415平方メートル)を許可やむを得ないと認め、回答することを議決した。

【第1号議案】

報告事項	件数	面積(平方メートル)
第4条	6	3164
第5条	19	251
合計	25	3万3415

(農地区分別件数は、3種農地11件、2種農地14件)

当日は意見書について南本村長より回答。遊休農地・担い手対策については、農地所有者への指導や農地中間管理機構を通じた貸借を推進すると述べた。

有害鳥獣対策については、防止柵購入費用の補助の継続とともに、研修の充実や箱わなの購入等の支援も継続すると説明。

各地で農業委員会委員研修会が開かれた。農業会議事務局が出席した研修は次の通り(①開催日、②場所、③出席者)。

- 撰津市(池上良雄会長)
- ①10月12日、②同市役所、③田村農政課主事
- 貝塚市(永橋啓一会長)
- ①12月8日、②同市役所、③中島総務課副主幹
- 泉佐野市(勝間富士男会長)
- ①12月8日、②同市役所、③鈴木専務理事兼事務局長
- 茨木市(小濱邦臣会長)
- ①12月20日、②同市役所、③田村農政課主事

Metro Bloom Project 地下鉄で大阪産花きをPR



大阪府花き園芸連合会の岡田会長(右)は「これを機会に大阪産の花の魅力を知ってほしい」と話す

昨年11月18日、農林中央金庫大阪支店と大阪メトロは天満橋駅、天下茶屋駅で大阪産の花を配布・PRするMetro Bloom Projectを開催した。

花の催事需要が大きく減少する中、イベントを通じて大阪産の花の魅力発信することで生産者を応援するもの。両駅で計1300本が配布された。

(田村)

押印取り扱いなどで情報交換

三島地区職協担当者会議 三島地区農業委員会職員協議会担当者会議が昨年11月24日、茨木市役所で開かれ、同地区の農委職員など10人が参加した。会議では、農地法許可申請に係る押印の取り扱いや、農地利用最適化推進委員の定数要件緩和に関する市町村の検討状況等について情報交換が行われた。